

新聞や郵便の配達人らをはじめ、来訪者に対してほえる犬は多いものです。犬はほえることで大切な縄張りと家族を守ろうとしています。特に縄張り意識の強い性格の犬にとって、家に近づくのは侵入者であり、なんとか追い払って縄張りを守らねばと行動します。

ただ「もし、敵がとても強かったらどうしよう」という恐怖心もあり、まずはほえて「それ以上近づくな」と威嚇しているのです。

配達人は、配達物を届けるとすぐに帰ります。実はここに、犬にほえ癖を付けてしまう落とし穴があるのです。偶然ほえたとき、配達人が仕事

あんしんペットライフ
102

郵便配達は追い返して満足!?

を終えて帰ると、犬は「やった！ 自分がほえて追い返した！」と思い込んでしまいます。そして嫌な相手が去ったということが、犬にとってのごほうびになるのです。

配達人が来る度にほえて追い払ったと思い込み、その度にごほうびが得られる。これを繰り返し、さらにほえても次第に自分に害がないと学習する。こうして、来訪者にほえる習慣が身に付いてしまうのです。

見知らぬ人を警戒し、数回ほえるのは当然のことですが、長時間ほえ続ける場合は

対策が必要です。根気強くトレーニングしたり、「伏せ」や「待て」の姿勢を指示したりしてほえ続けないようにさせましょう。

また、玄関先が見える場所に犬を行かせないようにしたり、別の部屋で過ごさせたりする方法も効果的です。屋外飼育の場合は、小屋の向きや場所を変えることで改善する場合もあります。

かわいい愛犬。お客さまから「お利口ね」と言ってもらいたいですね。

(アニコム損保

獣医師 霍田育実)